

参加費  
無料

日本 BD・イムノジェネテクス共催ウェビナー

# 高感度 1 細胞解析によって明らかになった 好塩基球の炎症制御機構

日時 2025 年 5 月 22 日 (木) 16:00 ~ 17:00

講師 三宅 健介 先生 | 東京科学大学 総合研究院 テニュアトラック准教授

## セミナー概要：

好塩基球は末梢血白血球中にわずか 0.5% ほどしか存在しない非常に希少な免疫細胞です。ここ 10 年ほどで、希少細胞である好塩基球が、皮膚アレルギー炎症の誘導や寄生虫感染、さらには自己免疫疾患の制御に重要であることが認識されてきました。しかしながら、その解析の難しさもあり、好塩基球の骨髄における分化経路や、皮膚アレルギーモデルにおける好塩基球による炎症制御機構は未解明のままでした。私たちは、TAS-Seq による高感度 1 細胞 RNA シーケンス解析の活用により、成熟好塩基球の前駆細胞として「プレ好塩基球」を同定しました (Miyake, Ito et al. Nat Commun 2023)。さらに、皮膚アレルギーモデルを TAS-Seq により解析することで、好塩基球が死細胞貪食能の高いマクロファージを誘導しアレルギー炎症を抑制することを見出しました (Miyake et al. Nat Commun 2023)。本講演では、TAS-Seq の好塩基球研究への活用事例を中心にお話しします。

本ウェビナーは事前登録制です。以下のサイトよりご登録をお願い致します。  
お申込み後に視聴サイト URL をメールでご案内させていただきます。

お申込みはこちら：[www.bdj.co.jp/s/20250522](http://www.bdj.co.jp/s/20250522)



共 催：イムノジェネテクス株式会社  
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

研究用です。本製品は、疾病の診断・治療または予防に使用することはできません。

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
カスタマーサービス [www.bdj.co.jp/s/cs/](http://www.bdj.co.jp/s/cs/)

[bdbiosciences.com/ja-jp/](http://bdbiosciences.com/ja-jp/)

IMMUNOGENE7EQS



BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates.  
© 2025 BD. All rights reserved.  
64-454-00